

I. 大阪府生物多様性地域戦略に基づく主な取組状況

目標及び取組方針

- ◆ 自然の恵みに関する意識の向上
- ◆ 自然環境に配慮した行動の推進

【取組方針 1】
生物多様性の理解と
生物多様性に資する行動の促進

2023年度の主な取組状況

- 生物多様性の情報発信ツール「おおさか生物多様性なび（仮称）」に係るコンテンツ作成
- 府内の生物多様性関連施設等と連携した普及啓発の実施
 - ・生き物や自然関係イベントを取りまとめた府民向けチラシを作成
 - ・施設等と共催で普及啓発イベント「いきものみどり つながる・つなげるフェスティバル」開催 【写真1】
 - ・「おおさかもん祭り」や「大阪自然史フェスティバル2023」でのブース出展
- 府民の森や府営公園、水辺における各種プログラムの提供
 - ・出前講座・自然観察会等の開催（計299回、1万1千名以上参加）

【写真1】



2024年度の主な取組予定

- 「おおさか生物多様性なび（仮称）」の制作及び広報の実施
- 府内の生物多様性関連施設等と連携した普及啓発の実施
- 府民の森や府営公園、水辺における生き物観察会等、各種プログラムの提供
- 生物多様性研修プログラムの改訂及び教員・社員等への研修の実施

- ◆ 自然環境の持続的な保全の推進
- ◆ 事業者等と連携した保全活動の推進
- ◆ 特定外来生物の防除の推進

【取組方針 2】
自然資本の持続可能な利用、
維持・充実

- 多様な主体と連携した森・里・川・海における取組みの推進
 - ・間伐等の森林整備、木材利用の促進、関係団体と連携した里地里山等の保全
 - ・野生鳥獣のモニタリング調査・捕獲の実施、農空間の保全と活用の促進
 - ・多自然川づくりを取り入れた河川工事の実施、臨海部における自然環境の創出
 - ・大阪湾窪地の埋戻しの実施、民間事業者と連携した藻場造成の開始 等
- 「おおさか生物多様性応援宣言」（※1）の登録開始（2023年度末 約80団体）
記念シンポ「生物多様性応援宣言はじめました」開催（2023.8開催、97名参加）
- 気候変動に対する取組の推進
 - ・脱炭素ポイント制度の実施、条例に基づく大規模事業者の取組みの促進
- 外来生物に係る啓発及び特定外来生物の防除の推進
 - ・「大阪府特定外来生物アラートリスト」の公表(2023.6)
 - ・クビアカツヤカミキリに係る防除対策研修会開催、被害調査の実施、防除推進計画の改定



※1 生物多様性保全に取組む企業・団体に取組内容を宣言（登録）いただき、府がPRを行う制度

- 多様な主体と連携した森・里・川・海における取組みの推進
- 「おおさか生物多様性応援宣言」登録制度の周知に努め、登録者の拡大を図るとともに、登録者間の交流促進等、取組支援を実施
- 外来生物に係る啓発及び特定外来生物の防除の推進
 - ・クビアカツヤカミキリに関する取組みの強化



- ◆ 市町村や保全団体等と連携したモニタリング体制の構築

【取組方針 3】
生物多様性保全に資する
仕組みづくりの推進

- 大阪府HP上で府内の生き物や自然環境についてのリーフレット・冊子類や調査資料等を紹介した「大阪府いきもの資料館」公表（2023.9）
- 「自然共生サイト」（環境省）への関係保全地「多奈川ビオトープ」（岬町）の登録について関係機関との調整を進め、認定を受けた（府内では計6サイトが登録済み）
- 生物多様性保全に資する調査研究の推進（外来生物の被害対策等）



- 「大阪府いきもの資料館」公表資料の拡充
- 「自然共生サイト」認定に向けた支援
- レッドリスト改訂に向けた検討、府内の希少種保全への機運醸成
- 生物多様性保全に資する調査研究の推進

II. 大阪府生物多様性地域戦略部会における検証

モニタリング指標（※3）

モニタリング指標	基準値 (2020年度)	2023年度
自然環境に配慮した行動をする府民の割合	18.6%	18.3%
連携した取組を行う事業者・団体数	299 事業者・団体	310 事業者・団体
府内で確認された特定外来生物のうち必要な対策がなされた割合	28.1% (9種/32種)	29.4% (10種/34種)
法令等に基づく地域指定の割合	24.6% (46,930ha /190,532ha)	24.6% (46,942ha /190,532ha)

※3 取組内容を検証する際に活用する指標